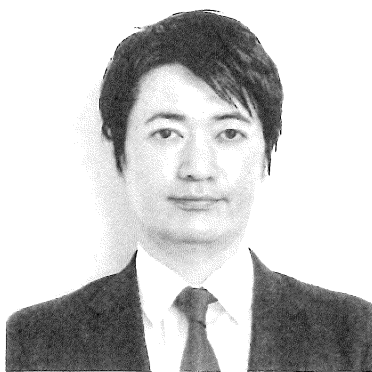


新社長に聞く

ジャスト 角田 賢明氏

ジャスト(横浜市青葉区)は6月3日付で角田賢明副社長が社長に昇格した。角田社長は「あらゆる構造物が安心・安全に利用できる世界をつくる」ことを企業使命に掲げ、創業以来50年間で数十万棟の構造物を検査・調査・診断してきた実績にふれ、「困ったらジャストへ」を信念とし、あらゆる課題を解決していく」と所信を述べた。

——就任早々の6月5日、創業50周年記念祝賀会の席上、従業員に話したことは



角田社長は「困ったらジャストへ」を信念とし、あらゆる課題を解決していく」と所信を述べた

い」を実践してきたすべ

「建築鉄骨UTは、当社は、短期的には働き方改革の中で現状の大型受注案件を着実に遂行することであるが、中長期的にはさらなる圧倒的ナンバワンで唯一無二の存在になることを目指す。資

格者数増、若手採用、野帳・報告書のDX化を進めていきたい。また、建築工法の高度化に対し

変わらぬ使命と理念を胸に刻む 建築鉄骨UTで唯一無二めざす

中で50年間

生き残るにはそれだけ大変なこと。

ジャスト

が何故10万社分の1社になりえたのか? その

理由は『誠実・丁寧に嘘をつかない

需要動向ならびに業績

た。 今期(2023年3月期)の建築鉄骨UT

「公正・中立な第三者の立場を維持」を挙げる

ら、変えてはいけないことがある。それは企業使命『構造物の安心・安全』と経営理念『技術の会社、第三者性、新たな挑戦、社員が主役』だ。これら

「当社は創業時から建築鉄骨UTの業界ナンバワンを目指してきた。技術力、効率、報告書品質、規模・全国対応、挨拶・気配り、正しい倫理観を武器に建築鉄骨市場

「経営理念の一つにジャスト入社。18年取締役、20年副社長、22年6月社長。43歳

ではゆるぎない業容を築き上げた。現時点の立ち位置と今後の方向性は

「当社は創業時から建築鉄骨UTの業界ナンバワンを目指してきた。技術力、効率、報告書品質、規模・全国対応、挨拶・気配り、正しい倫理観を武器に建築鉄骨市場

「当社がこれまで50年

てはゆるぎない業容を築き上げた。現時点の立ち位置と今後の方向性は

「当社は創業時から建築鉄骨UTの業界ナンバワンを目指してきた。技術力、効率、報告書品質、規模・全国対応、挨拶・気配り、正しい倫理観を武器に建築鉄骨市場

「当社がこれまで50年